

## いやしけ吉事

新しき 年の初めの 初春の 今日降る雪の いやしけ吉事（よごと） 大伴家持

これは、約4500首の和歌が収められてある万葉集（まんようしゅう）という和歌集の最後を飾る和歌です。作者は大伴家持（おおとものやかもち）です。

意味は、こうなります。新しい年の初めでもあり、初春でもある今日という日、降り積もる雪のように、ますます重なっていきますように。たくさんの良いことが。

新しい年の初めを祝い、その年の平安を祈る和歌として、昔から正月にふさわしく縁起（えんぎ）がいいとされてきました。日本という国に住むすべての人々の幸せを祈っているかのようです。

2023年、令和5年、そして第3学期がスタートしました。生徒の皆さんは、「新年の抱負（ほうふ）」を考えたことでしょうか。抱負とは、心の中にもつ決意や計画などを指します。「〇〇になりたい」「〇〇をしたい」だけで終わるのは、抱負とは言えません。「〇〇になれるよう、〇〇をする」と、具体的に述べることが重要です。目標を達成するために、どんな努力をするのか、どんな行動をとるのかというプロセス（過程）こそが、抱負では重要視されます。

抱負という言葉を見たときに、「負」という文字にマイナスの印象をもつかもかもしれません。これは、「背負う」「請（う）け負う」などの際に使われる「負（お）う」という意味で、負けるという意味ではありません。抱負という漢字は、心の中の決意や計画をしっかりと抱き、負っているということを示しています。

新しい年を迎えると、誰もが「今年こそ、いい年になりますように」と、自分だけではなく、家族や友人、そして日本中の、世界中の幸せを祈ります。人は、いつでも、誰でも、平和を願っています。幸せになりたいと考えています。それは、皆さんも同じです。先生方も同じです。

新年の抱負を考えました。「野田中学校を幸せな学校にする。そのために、一人一人の生徒が幸せになるように、先生方が幸せになるように、思いやりの心を柱に教育活動を行っていく」です。

今、世界中が、日本中が、幸せになりたいと強く願っています。それは、野田中学校も同じです。自分の学校を幸せにできないようでは、日本も、世界もないでしょう。皆さんも、まずは自分の幸せを、そして家族の幸せを、友人の幸せを、地域の幸せを、野田中学校の幸せを考えてみてください。みんなが幸せを願えば、何かが変わる、何かが起こるような気がしませんか。今年は「いやしけ吉事」となりますように。